

平成29年度士幌町予算審査特別委員会

平成29年3月8日

1 審査付託事件

- 認定第29号 平成29年度士幌町一般会計予算
- 認定第30号 平成29年度士幌町国民健康保険事業特別会計予算
- 認定第31号 平成29年度士幌町後期高齢者医療事業特別会計予算
- 認定第32号 平成29年度士幌町介護保険事業特別会計予算
- 認定第33号 平成29年度士幌町介護サービス事業特別会計予算
- 認定第34号 平成29年度士幌町簡易水道事業特別会計予算
- 認定第35号 平成29年度士幌町公共下水道事業特別会計予算
- 認定第36号 平成29年度士幌町農業共済事業特別会計予算
- 認定第37号 平成29年度士幌町国民健康保険病院事業会計予算

2 出席委員（11名）

細井 文次 和田 鶴三 秋間 紘一 河口 和吉 清水 秀雄 飯島 勝
出村 寛 森本 真隆 大西 米明 加藤 宏一 中村 貢

3 欠席委員（0名）

4 説明のため出席した者

町長 小林 康雄 教育長 堀江 博文
代表監査委員 佐藤 宣光

5 町長の委任を受けて出席した者

副町長 柴田 敏之 保健医療福祉センター長 山中 雅弘
総務企画課長 瀬口 豊子 会計管理者 土屋 仁志
町民課長 波多野 義弘 保健福祉課長 大森 三宜子
産業振興課長 高木 康弘 産業活性化担当課長 亀野 倫生
建設課長 増田 優治 道路維持担当課長 佐藤 英明
子ども課長 金森 秀文 特老施設長 矢野 秀樹
病院事務長 山下 慎也 消防課長 淡中 済
ほか、関係職員

6 教育委員会教育長の委任を受けて出席した者

参事 玉堀 泰正 教育課長 辻 亨
給食センター所長 鈴木 典人 高校事務長 藤村 延
ほか、関係職員

7 農業委員会会長の委任を受けて出席した者

事務局長 細野 幸彦

ほか、関係職員

8 職務のため出席した議会事務局職員

事務局長 寺田 和也 総務係長 藤内 和三

9 会議録

会 議 の 経 過

(午後 2時25分)

寺田議会 事務局長	ただいまから予算審査特別委員会の構成を行います。 予算審査特別委員会の構成に当たり、委員会条例第8条の規定に基づき清水秀雄委員に臨時委員長をお願いいたします。
清水臨時 委員 長	臨時委員長の職務を行います。 ただいまから予算審査特別委員会を開会します。 直ちに本日の会議を開きます。 これより委員長選挙を行います。 お諮りします。委員長選挙は、臨時委員長による指名推選にしたいと思えます。異議ありませんか。 (異 議 な し)
清水臨時 委員 長	異議なしと認めます。したがって、委員長選挙は臨時委員長が指名することに決定しました。 お諮りします。委員長に細井文次委員を指名します。異議ありませんか。 (異 議 な し)
清水臨時 委員 長	異議なしと認めます。 したがって、ただいま指名しました細井文次委員が予算審査特別委員会委員長に当選しました。 以上をもって委員長と交代します。 暫時休憩します。 暫時休憩
細 井 委員 長	休憩前に引き続き委員会を開きます。 これより副委員長選挙を行います。 お諮りします。副委員長選挙は、委員長による指名推選にしたいと思えます。異議ありませんか。 (異 議 な し)
細 井	異議なしと認めます。したがって、副委員長は委員長が指名するこ

	委員 長	<p>とに決定しました。</p> <p>お諮りします。副委員長に加藤宏一委員を指名します。異議ありませんか。</p> <p style="text-align: center;">(異 議 な し)</p>
	細 井 委員 長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>したがって、ただいま指名しました加藤宏一委員が予算審査特別委員会副委員長に当選されました。</p> <p>ただいまより予算審査特別委員会を行います。</p> <p>本委員会の運営について特段の協力をお願いいたします。</p> <p>審査の方法は、理事者からの総括説明の後、各課より説明を受け、質疑の後、会計ごとに討論、採決を行いたいと思います。これに異議ありませんか。</p> <p style="text-align: center;">(異 議 な し)</p>
	細 井 委員 長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>したがって、審査の方法は各課より説明を受け、質疑の後、会計ごとに討論、採決することに決定しました。</p> <p>なお、説明員の交代につきましては、その都度休憩を宣言して行いますので、あらかじめご了承願います。</p> <p>平成29年度土幌町一般会計予算を議題といたします。</p> <p>なお、会議中につきましては大変議場内が暑うございますので、委員並びに職員の皆さんは上着をとって委員会を行いたいと思いますので、よろしく願いをいたします。</p>
説 明	柴 田 副 町 長	<p>理事者の総括説明を求めます。副町長、登壇願います。</p> <p>それでは、平成29年度予算の総括説明をさせていただきます。平成29年度予算説明資料により説明をさせていただきます。</p> <p>最初に、1ページでございます。平成29年度当初予算全会計の総括表となっております。一般会計から病院事業会計まで記載しておりますが、一般会計では77億6,100万円対前年度比5億1,500万円、7.1%増の予算となりました。</p> <p>国保会計は、前年度より5.2%減の11億4,381万6,000円、5.2%減の予算となったところであります。</p> <p>後期高齢者会計は1%増の9,659万2,000円、介護保険会計では前年度とほぼ同額の6億6,637万8,000円、介護サービス会計もほぼ前年度と同額の5億1,554万1,000円となりました。</p> <p>簡易水道会計では、道営営農用水事業で平成27年度の繰越事業に予算化したことから前年度比68.8%、1億8,830万円増の4億6,214万3,000円となりました。</p> <p>下水道会計におきましては、老朽化による施設の更新にかかわる調査設計費により前年度比37.9%、約5,800万円増の2億1,130万8,000円となりました。</p>

共済会計では、十勝NOSA Iと再編をすることから家畜勘定と畑作物勘定の予算がなくなることにより13億1,800万円ほどの減額となり、共済会計としては1億8,575万9,000円となるものであります。

病院事業会計においては、前年度より1日平均の入院で3名減の45人、外来で11.9人増の1日当たり95.6人とし、収益的支出では前年度比約2,900万円、3.0%減の9億3,410万3,000円となり、一般会計からの繰入金も前年度と同様2億6,000万円としたところであります。資本的支出では、医療機器の整備で前年度比10.7%減としたところであります。

全会計の総額は、共済会計の減少によりまして120億5,754万円、率で5.1%減の予算となったところであります。

次、2ページ目は平成29年度一般会計の歳入歳出別の対比表であります。円グラフの外側が29年度分でありまして、前年度との比較となっております。上段のグラフが歳入でありまして、地方交付税の減により一般財源が減となった一方、公営住宅建設や西上橋の災害復旧にかかわる補助金や起債の金額が多くなることから特定財源が5億7,730万円と大きく伸びております。下段のグラフは歳出でありまして、同じく公営住宅の建設や災害復旧工事により投資的経費が5億4,770万円と大きく伸びているところであります。

3ページ目は、歳入歳出の款別の対比表であります。左側が歳入であります。先ほど説明したとおり、地方交付税の減少により3.2%の減、一方国庫支出金が9.9%と伸びております。右側が歳出でありまして、災害復旧費が全体の10.1%を占める結果となっております。また、新道の駅の建設が終えたことから商工労働費が9.6%の大幅な減となりました。

次に、4ページ、5ページをお開きください。性質別の歳出予算額調であります。人件費につきましては、共済会計職員の7名分の給与を農林業費で支出することとなるため6,512万円、4.9%の伸びとなっております。物件費の4%の減につきましては、主に消防団の団車の新規購入は本年度はないため減額となったものであります。維持補修費の増につきましては、車両センターの1名分の業務を委託により実施するため人件費から振りかわることにより増額となったものであります。普通建設事業の補助事業の増につきましては、土木費における公営住宅の建替事業及び町道整備の社会資本総合整備事業の増額によるものであります。単独事業につきましては、地域創造発信拠点施設整備事業、新道の駅に係る事業が終了したことによるものが主な要因であります。道営事業では、畑総事業の伸びによるものであります。災害復旧費は、先ほども説明をしたとおり西上橋の災害復旧工事によるものであります。積立金の減につきましては、金利の低下によるものでありまして、貸付金につきましてはベリオーレに対する貸し付け

の減額によるもの、繰出金では共済事業会計への繰り出しがなくなったことによるものであります。このほかにつきましては、昨年度と比べ大きな増減がありません。

6 ページ、7 ページは、節別の歳出予算額調であります。給料、職員手当、共済費の増につきましては、共済会計から農林業費の振りかえにより増額でありますけれども、この人件費につきましては十勝N O S A I から同額を負担金で徴収することになっております。賃金では、定年退職の再任用とする臨時職員に係る賃金の増や退職補充に係る管理栄養士や教育支援員の増などによるものであります。備品購入費では、先ほど説明しましたが、消防車の購入や道の駅に係る備品の購入減が大きな要因であります。負担金、補助金では、道営事業による増であります。それ以外につきましては、性質別予算額調の説明と重複いたしますので、省略をさせていただきます。

次に、8 ページの性質別歳出予算財源内訳ですが、特に災害復旧事業費に係る国庫支出金が大きくなっております。地方債は、新道の駅建設事業が終了したため大きく減少をいたしました。その他につきましては、前年度並みとなったところであります。

次に、9 ページ、10 ページですが、ここは建設事業費にかかわるものであります。まず、第1の補助事業であります。社会資本総合整備交付金事業として継続事業の防雪柵を含めると5路線と橋梁長寿命化修繕は3橋と年次的に行う点検として65橋を見込んでおります。また、公営住宅建替事業として南百戸及び睦団地の公営住宅建替6棟12戸の建設を見込んだところであります。

次に、単独事業分としては下居辺のへき地保育所跡地に農園付き住宅2棟の建設、酪農ヘルパー用の賃貸住宅の建設に対する補助金5,334万円、新道の駅の外構工事に1,200万円、旧道の駅を利用する農産物加工施設の実施設計費750万円、道路関係ではいずれも継続事業であります。農道2路線、地方道路事業で舗装の長寿命化修繕を入れて3路線の整備を予定をしております。そのほか町有施設の老朽化に伴い、車両センター、各小中学校、各公民館、総合研修センターなどの修繕やトイレの洋式化改修を行う経費を見込みました。また、アスベスト対策として対象となる小学校や高校などの煙突の改修に3,432万円ほどを見込んだところであります。単独事業の合計は、対前年比5億1,645万2,000円少ない6億9,156万8,000円となりました。

道営事業では、前年度同様ワッカ美加登線の開設事業分の負担金1,500万円、道営土地改良事業では畑総4地区、草地1地区に1億475万円、合計で1億1,975万円を見込んだところであります。

災害復旧事業では、西上橋の復旧工事であります。説明は前にしましたので、省略をさせていただきます。

最後に、失業対策事業分では昨年度と同様に単独事業分の約300万

		<p>円余りとなったところであります。</p> <p>次に、11ページは国費、道費による各種事業導入調で記載のとおりであります。</p> <p>12ページは、町有林の管理事業位置図であります。</p> <p>13ページは、下居辺に建築を予定する農園付き住宅の概要であります。</p> <p>14ページは、土地改良事業の施工箇所、15ページは土木事業の施工箇所、16、17ページは公営住宅の概要を載せておりますので、参照願います。</p> <p>以上、平成29年度の一般会計予算の概要の説明とさせていただきます。</p> <p>総括説明が終わりました。</p> <p>審議に当たりましてお願いを申し上げます。質疑に当たっては、会議規則等に基づき議題外にわたらないように、かつ簡潔に質疑されるようお願いいたします。また、質疑は1人1問とし、さらに質問があれば他の委員の質疑が終わってから許すこととし、関連で質問される場合は、第1の質問者の質疑が終わってからされるようお願いをいたします。質疑の際は、マイクボタンを押し、予算書のページ数を明示の上、簡潔明瞭をお願いいたします。</p> <p>これより議事に入りますが、説明に当たり、新規事業につきましては詳細な説明をお願いいたします。</p> <p>最初に、議会費、総務費の説明を求めます。議会事務局長。</p>
説明	細井委員長	<p>33ページ、議会費について……</p>
	寺田議会事務局長	<p>(何事か言う者あり)</p>
	細井委員長	<p>質疑、質問まで入りません。説明で本日は終わりたいと思いますので、昨年度も入れかえなしで説明だけで終わりましたので、説明だけで本日は終わりたいと思いますので。</p>
	細井委員長	<p>(何事か言う者あり)</p>
	細井委員長	<p>暫時休憩します。</p>
		<p>午後 2時41分 休憩</p>
		<p>午後 2時45分 再開</p>
	細井委員長	<p>再開をします。</p>
説明	寺田議会事務局長	<p>議会費、総務費の説明を求めます。議会事務局長。</p>
	寺田議会事務局長	<p>それでは、33ページ、議会費について議会事務局長、寺田より説明申し上げます。</p>
		<p>1款1項1目議会費の予算総額は8,069万1,000円で、前年度対比10</p>
		<p>1万9,000円の減額となっております。主な要因は、2節給料から4節</p>

共済費のうち職員人件費分で69万6,000円の増、同じく4節、議員共済組合負担金では標準掛率引き下げに伴い37万4,000円の減、9節旅費では道外行政視察の終了により135万7,000円の減、14節使用料及び賃借料は同じく道外行政視察終了によりまして自動車借り上げ料等20万5,000円の減となっております。その他の節につきましては、おおむね前年同様の予算を計上したところでございます。

以上で説明を終わります。

細井
委員長
瀬口総務
企画課長

総務企画課長。

2款1項1目一般管理費でございますが、4億2,764万2,000円で前年度対比2,791万2,000円の増額で、その主な要因としましては農業共済再編に伴う事務経費及び派遣職員への退手組合の負担金の増、協力隊員3名が増となったことによるものでございます。2節から4節の人件費では1,491万8,000円の増額、7節賃金では先ほど説明しました協力隊員が3名から6名になったことなどから746万円を増額、35ページに行きまして11節需用費は燃料費単価が下がったことなどから差し引き8万2,000円の増額、12節役務費は郵便料におきましては介護保険事業計画ほか1の町民アンケート実施に伴う増及び電話料で242万5,000円の増額、36ページに行きまして13節委託料、庁舎管理費業務委託費は委託費分の人件費及び共済関係で見込んでいた経費を含めまして107万4,000円の増、行政不服審査制度対応支援業務21万6,000円の増額、マイナンバー法例規支援整備完了などにより減を差し引きまして142万4,000円の減額となっているところでございます。14節使用料及び賃借料は、複写機使用料で100万円、15節工事請負費は、役場地下湧水配管設置工事447万2,000円の増額、18節備品購入費はコミセンの椅子購入費分が減となりまして80万2,000円の減額、これら以外の費用については、前年度とほぼ同様となっております。特定財源といたしまして、職員給与費負担金ほか記載のとおり充当してございます。

2目文書広報費は、501万9,000円、前年度対比9万3,000円の減額で、11節需用費、印刷製本費の増に13節委託料、公式ホームページのキッズページ改修費が完了したことに伴いまして差し引きが減となっております。特定財源として、自衛官募集事務委託金を充当していません。

3目財産管理費は、4,340万8,000円で、前年度対比43万9,000円の減額で、その主な内容といたしまして11節需用費、消耗品費、印刷製本費は農業共済会計の負担が見込めないことによる増、燃料費は公用車2台分が増、修繕費は旧北中音更小学校の教員住宅改修費の減を差し引きまして147万9,000円の減額、12節役務費は消火器のリサイクル手数料、処分料、火災保険料、車検手数料など56万3,000円の減額、1

細 井
委員 長
高木産業
振興課長

5節はヤマト運輸へ貸し付けております倉庫屋根改修工事540万円の増額、18節備品購入費は消火器及び公用車更新1台減で378万6,000円の減額、27節公課費は16万8,000円を減額し、これ以外は前年度とほぼ同様となっております。特定財源の内訳といたしましては、土地、建物使用料及び貸付料、太陽光発電施設貸付料、一般単独事業債ほか記載のとおり充当しています。

以上で説明を終わります。

産業振興課長。

38ページ、4目町有林管理費について産業振興課長、高木から説明をいたします。

前年度比1,655万5,000円減の3,382万1,000円を計上したところです。減額の要因は、人件費の正職員1名減と前年度で平成27年の台風被害の風倒木処理が終了したことによるものであります。2節から4節までは、職員1人分の人件費であります。主な支出ですが、15節工事請負費では造林、下草刈、間伐、保育間伐事業に333万4,000円増の計2,019万4,000円、16節原材料費では造林用のカラマツ、シラカバなどの苗木162万円を計上したところであります。100年の森づくり事業につきましては、平成25年度から進めているもので、林道ワッカクンネツ線沿いの町有林約14haにおいて5月末に第4回町民植樹祭及び平成30年度の準備地ごしらえを行う経費として13節で100年の森整備委託料として50万円、14節で簡易トイレ借り上げ料8万7,000円、16節で造林用苗木162万円のうちイヌエンジュ苗木18万7,000円など合計79万1,000円を計上したところであります。それぞれの事業箇所、事業面積につきましては、説明資料の12ページの平成29年度町有林管理事業位置図を参照いただきたいと思います。特定財源としましては、町有林造林事業補助金850万円、立木売払収入170万6,000円、間伐材売払収入145万円であります。

以上で説明を終わります。

総務企画課長。

細 井
委員 長
瀬口総務
企画課長

総務企画課長、瀬口より説明申し上げます。

39ページ、5目公平委員会費は前年度と同額の15万4,000円を計上、6目企画費は、1億1,346万6,000円、前年度対比4,076万8,000円の増額で、その主な内容は8節報償費でふるさと寄附報償及び移住体験住宅利用者報償203万円を減額、11節需用費は協力隊の活動経費として消耗品費、リース車燃料代の増、ふるさと寄附のパンプ印刷など41万5,000円の増額、12節役務費、移住定住広告料の減とふるさと寄附に係る広告料及びその他手数料などの増を差し引き117万3,000円の増額、40ページへ行きまして13節委託料は16万6,000円の減額で、その

主なものは旧下居辺へき地保育所跡地に建設予定の農園付き住宅実施設計、移住・定住パンフレット作成、空き家空き地等利活用支援業務、財務書類作成支援業務、固定資産管理・公会計システム導入の各委託料を合わせ844万3,000円を新たに計上、空き家空き地調査、公共施設管理計画策定、資産整備支援業務の各委託料は事業が完了したことで合わせて860万9,000円の減額、14節使用料及び賃借料では固定資産管理・公会計システムの使用料、地域おこし協力隊用自動車及びパソコン借り上げ料で100万9,000円の増額、15節工事請負費は下居辺地域における情報通信向上対策整備工事、農園付き住宅新築及び外構工事、合わせ3,746万2,000円及び18節で農園付き住宅家具家電備品購入費300万円をそれぞれ新たに計上しております。41ページ、19節、負担金補助では十勝圏複合事務組合負担金の減、他で13万9,000円の減額、これ以外は、ほぼ前年と同額となっております。特定財源は、地域づくり総合交付金、太陽光発電施設及び移住体験住宅貸付料ほか記載のとおり充当してございます。

7目環境対策費は534万円で、前年度対比67万9,000円の減額、1節報酬、9節旅費で2万1,000円の増、19節負担金補助及び交付金で環境自治体会議しほろ会議実行委員会負担金70万円を減額、なお本大会につきましては5月25、26日、両日開催することで準備を進めているところでございます。特定財源につきましては、愛のまち建設基金繰入金を充当しています。

以上で説明を終わります。

細井
委員長
波多野
町民課長

町民課長。

8目生活安全推進費について町民課長、波多野から説明いたします。本年度の予算総額は384万1,000円で、前年度対比7万8,000円の増額であります。その主な内容としまして、11節、燃料費で交通安全指導車2台のうち1台を総務企画課に所管がえによる5万2,000円減の6万円、13節委託料で消費生活訪問調査委託料では高齢者世帯等の要援護者の消費生活問題の実態調査及び啓発を行い、被害防止対策を図るとして新たに6万円を計上し、18節備品購入費では交通安全指導員の制服購入費で5万8,000円増の17万1,000円を計上しております。その他の節につきましては、事業実績を勘案し、前年度と同様の額を計上しております。特定財源としまして、消費者行政活性化事業交付金12万4,000円を充当しております。

以上で説明を終わります。

細井
委員長
瀬口総務
企画課長

総務企画課長。

総務企画課長、瀬口より説明申し上げます。

9目情報管理費は、4,828万2,000円で、前年度対比226万2,000円の

減額で、その主なものは43ページの13節委託料でマイナンバー情報漏えい対策として道が構築した全道の市町村が参加、自治体セキュリティクラウド運用委託料で80万7,000円を新規に計上、住民情報システム自治体クラウド事業のうち28年度中より運用を開始しています障害者福祉システム機能を予算化したことで211万8,000円の増額、マイナンバー制度改修プログラム変更及びセキュリティ対策情報システム完了に伴い、683万8,000円の減などを差し引き352万9,000円の減額、19節、地方公共団体情報のシステム機構負担金、28年度途中に予算化しております当初予算で130万2,000円を計上、これ以外は前年度とほぼ同様となっています。

10目地域生活交通確保対策事業費は、予算額1,210万2,000円で、対前年度比50万8,000円の増額、主なものは13節委託料、コミュニティバス運行経費で新道の駅延長分運行経費7万8,000円とそれに伴うバス停等看板作成委託料30万円を増額、18節備品購入費は交通公園の芝刈機購入で16万2,000円の増額、特定財源として国鉄土幌線基金利子収入及び同基金繰入金、愛のまち建設基金繰入金を充当しています。

次に、44ページ、11目協働推進事業費は、昨年度と同額の予算額1,591万5,000円を計上し、特定財源としてふるさと創生事業基金利子収入及び雑入で有価物売却収入の一部を充当しております。

12目諸費は、予算額452万7,000円で、前年度対比42万1,000円の増額で、その主な要因は1節報酬で新たに設置します空き家等対策協議会委員報酬分の増で11万円、11節需用費で消耗品費のAEDパッド、電池購入で21万4,000円の減、13節委託料は、避難所看板設置等で50万円の増額、45ページ、20節扶助費では、災害救助用物資購入費としてアルファ米、土のうほかを購入で22万6,000円の増額、これ以外の予算については前年度とほぼ同様となっています。

13目財政調整基金費は、50万8,000円で、前年度対比67万5,000円の減額で、利息分を基金に積み立て、特定財源として同基金利子収入を全額充当しております。

14目愛のまち建設基金費は、予算額5,020万3,000円で、前年度対比23万9,000円の減額で、利息分を基金に積み立て、特定財源として同基金利子収入及び指定寄附金を全額充当しております。

15目飯島賞贈呈基金費は、予算額4万9,000円の前年度同額で、表彰記念品を購入するものです。特定財源として同基金利子収入及び繰入金を全額充当。

16目減債基金費は、予算62万4,000円で、前年度対比105万4,000円の減額、利息分を基金に積み立て、特定財源は、基金利子収入を全額充当しております。

17目地方創生推進事業費は、19節で十勝・イノベーション推進事業負担金10万円を新たに計上するもので、これは帯広市並びに管内町村

細 井
委員 長
波 多 野
町民課長

で取り組む広域連携事業として、総合的な支援体制を構築し、地域の創業、起業に結びつけようとする取り組みで、特定財源として地方創生推進交付金5万円を充当するものです。

以上で説明を終わります。

町民課長。

46ページに移りまして、2項1目税務総務費について町民課長、波多野から説明いたします。

本年度の予算総額は、6,335万4,000円で、前年度対比16万3,000円の減額であります。その主な内容は、2節給料から4節共済費の人件費に係る職員の給与の改定によるもので157万9,000円増の5,923万1,000円、7節賃金では、前年度実績減による173万8,000円減の357万4,000円を計上しております。その他の節につきましては、事業等実績を勘案し、前年と同様な額を計上しております。特定財源につきましては、土地精通者謝金2万円を充当しております。

次に、2目賦課徴収費ですが、本年度の予算総額は1,120万5,000円で前年度対比13万3,000円の減額であります。その主な内容は、13節委託料で電算保守点検委託料では3年ごとの固定資産税評価がえの基準年度、平成30年度に向けた家屋評価がえ対応システム更新で48万6,000円増の91万8,000円、同じく評価がえのための路線価格鑑定評価業務委託料277万8,000円を新たに計上したものでございます。なお、平成28年度に実施終了しました標準宅地鑑定評価事業340万2,000円を減額してございます。その他の節につきましては、事業実績等を勘案し、前年度と同様の額を計上したところでございます。特定財源につきましては、自動車臨時運行許可申請手数料3万円を充当しております。

続きまして、47ページに移りまして、3項1目戸籍住民基本台帳費では、本年度の予算総額は2,268万3,000円で前年度対比35万2,000円の増額でございます。主な内容としましては、2節給料から4節共済費の人件費に係る職員の給与改定に伴うもので58万4,000円の増の1,716万3,000円、11節需用費の印刷製本費で戸籍、住民票証明の改ざん防止用紙印刷は隔年印刷による25万7,000円減の8万6,000円、13節委託料の窓口交付システムプリンタ保守委託料では、去年4月から開始しました中土幌出張所での住民票等諸証明発行プリンタの1年保証が経過したことによる1万3,000円を新規計上し、通知カード等関連事務委託料では、マイナンバーカード発行増に伴う地方公共団体情報システム機構に業務委託料として22万6,000円増の71万4,000円を計上しております。48ページに移りまして、14節使用料及び賃借料では、前年度と同様の額を計上しており、なお18節備品購入費では前年購入しましたパスポート交付旅券窓口交付端末機器更新済みにより32万2,000円を減額しております。47ページに戻りまして、特定財源としまし

<p>細 井 委員 長 瀬 口 選挙管理 委員会 事務局長</p>	<p>ては住民票、戸籍等の諸証明手数料254万円、通知カード等関連事務事業補助金、中長期在留者住居地届出等事務委託金、権限移譲交付金、人口動態調査事務委託金を合わせて98万5,000円を充当しております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p> <p>選挙管理委員会事務局長。</p> <p>選挙管理委員会事務局長、瀬口より説明申し上げます。</p> <p>48ページ、4項1目選挙管理委員会費は、予算額815万円で前年度対比22万4,000円の増額は、2節から4節の人件費によるものです。</p> <p>次に、2目参議院議員通常選挙費は、昨年実施しておりますので廃目となっております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>細 井 委員 長 瀬口総務 企画課長</p>	<p>総務企画課長。</p> <p>5項1目統計調査総務費について総務企画課長、瀬口より説明申し上げます。</p> <p>予算額は458万4,000円で、前年度対比47万7,000円の減額で、2節から4節の人件費の減額で、特定財源としてそれぞれ記載のとおり各調査委託金を充当するものです。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>細 井 委員 長 寺田監査 委員会 事務局長</p>	<p>監査委員会事務局長。</p> <p>監査委員費につきまして監査事務局長、寺田より説明申し上げます。</p> <p>6項1目監査委員費の予算総額は、210万7,000円で前年度対比28万9,000円の減額、主な要因は、9節旅費で全国研修会参加分として28万5,000円の減額でございます。その他の節では、おおむね前年同様の予算を計上したところでございます。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
<p>細 井 委員 長</p>	<p>説明が終わりました。</p> <p>本日は、これにて予算特別委員会を散会いたします。</p> <p>なお、質疑につきましては、明日10時から再開をいたしますので、お集まりをいただきたいと思います。</p> <p>ご苦労さまでした。</p>

(午後 3時07分)